

神戸大学が主催する国際研究集会の開催

海事科学研究科 小田啓二

平成26年9月15日から19日の間、神戸大学統合研究拠点コンベンションホールにおいて、第26回「固体中核飛跡に関する国際会議」(26th International Conference on Nuclear Tracks in Solids)を開催します。

この国際会議は、高エネルギー粒子が固体中に残す通り道の跡である「飛跡(トラック)」をテーマにしたもので、具体的には、宇宙放射線計測、スペースシャトル乗務員の被ばく線量計測、高エネルギー粒子加速器からの中性子計測、重粒子線がん治療に関わる生物細胞実験、鉱物中の飛跡分析からの年代測定、自然放射性気体であるラドンの測定、ナノサイズの核ポアを利用した機能性膜材料の開発などの応用分野だけでなく、飛跡の構造や形成機構に関わる放射線物理や放射線化学の視点からの基礎的な研究を対象としています。

このような広範な研究テーマに取り組んでいる専門家が一堂に会する学際的な研究集会であり、主にヨーロッパを中心に1957年から2～3年毎に継続して開催されている長い歴史があります。この度、国際核飛跡学会(International Nuclear Track Society, INTS)の理事会からの強い要望を受け、日本で初めて開催することになりました。

神戸大学と応用物理学会放射線分科会の共催という形で、海事科学研究科教員を中心として準備を進めており、理学研究科及び人間発達環境学研究科の教員も協力しております。20カ国、100人以上の海外参加者を予定しており、期間中、活発な議論と情報交換が行われるものと期待されます。

詳細はWebサイト(<http://www.org.kobe-u.ac.jp/icnts26/>)をご確認下さい。